

# ふくはら幼稚園だより（冬休み号）



学校法人ふくはら幼稚園

令和7年12月22日発行

目指す園児像 “明るく元気でのびのびした子ども”

園児数36名（3クラス） 教職員数12名 川越市今福1780-5 Tel 243-4216・4268

## やさしさとやる気が満ちています

園長 山下 道夫

園庭のさくらやイチヨウがすっかり葉を落とし、寂しさを感じますが、これは、寒さや乾燥から身を守り枯れてしまうのを防ぐためです。来る春に備えているのですね。今日は冬至でこれから厳しい寒さが続きますが、私たちも冬支度をしっかりし、よい新年を迎えましょう。



さて、2学期は、うんどう会、所沢航空公園での園外保育、ひよこ会など大きくて楽しい行事がたくさんありました。そして、今年もこれらの行事にたてわりを取り入れました。うんどう会では全員リレーやパラバルーン、園外保育では車座になってのお弁当、ひよこ会ではオペレッタ。

年長児（時には年中児も）が年下の園児を思いやりつつ手本を示し、年少児や年中児は憧れの気持ちを持って協力するというサイクルで、園全体の人間関係がよくなっていきました。そして、仲良くやさしくなっていました。このたてわり活動は、今月6日のひよこ会で最高潮に達しました。



短い練習期間でしたが、異年齢の友だちと心を通わせ、動きを合わせ、自信を持って自らの役割を全うする園児の姿には、心を激しく動かされました。保護者の皆様からは、「自信を持って役を演じる姿に成長を感じました。」「温かく素敵なひよこ会でした。」等、ご感想をたくさんいただきました。

このたてわり活動による心の成長は、幼稚園の特色になっています。今、園は園児の「やさしさ」

と「やる気」で満ちています。これまでの保護者の皆様の温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。そして、新年もよろしくお願い致します。

## お餅つき（12月12日）

前夜の強風で大変冷え込みましたが、開始時刻になると風も和らぎ、まずまずのお餅つき日和となりました。今年は、前日のお米とぎや黄な粉と砂糖の混ぜ合わせを見ることができ、園児の関心はこれまで以上に高まりました。そして、当日は機械でこねたお餅を臼の中に入れ、杵を手にした園児一人一人が「ぺったん。」と10回ずつつきました。周りでは、友だちが「1・2・・・」と大きな声で数え、応援しました。最後に、称賛の大きな拍手を受けた園児は、満面に笑みを浮かべていました。一人一人のよさが認められ達成感を十分に味わうとともに、友だちのやさしさを改めて実感する行事となりました。



## 好奇心をそそる — ボランティアさん大活躍

今年度は、たくさんの地域ボランティアさんにご来園いただき、園児の好奇心をそそる活動ができました。皮切りは、4月24日に実施したミニ音楽会です。小金井市観光大使・エバリーさんのピアノとバイオリン演奏に魅了されました。お誕生会では、市内にある各種サークルの皆様にも、マジックショーやお話会、オカリナ演奏をやっていただき、園児たちはお喜びでした。8月の末には、福原中学校有志の生徒さんと先生にお越しいただき、ジャンボリミッキーの踊りや大きなかぶの劇、タップダンスを見せていただくとともに園児と一緒にやっていたきました。3学期には、どんな出し物があるのか、園児は楽しみにしていると思います。



※ 裏面は、「1月・2月の行事予定」です。